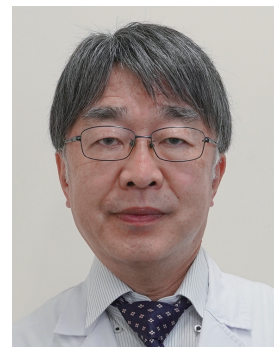


和歌山ろうさい病院広報誌

わろうて

わかやまろうさい病院からのおてがみ



和歌山ろうさい病院
副院長 中 啓吾

5月にはすでに国内では35度以上の猛暑日を記録し、例年以上の本格的な夏の暑さが今から心配ですが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。5月8日から新型コロナが2類相当感染症から5類となり屋外では熱中症予防のためマスクを外す方々も増えて脱マスクも少しずつ浸透中です。

今回のコロナ禍によって感染拡大の原因となる人と人との接触を避け、ものに触れないための非接触の機器やビジネスが身近でも進んできていることを実感します。セルフレジやスマホ決済、赤外線体温計、新しい各種自動販売機、非接触スイッチや無人駅(?)等々、これらはコロナ後も利便性向上でさらに拡大し日常の「非接触」が当たり前になってゆきそうです。かたや直接的な接触である万国共通の挨拶「握手」は一時ほとんど見られなくなりましたが復活してきました。握手は過去にもヨーロッパのペストやスペイン風邪流行で繰り返し禁止されながらもその度に復活してきたのは、人と人とのつながりの上で合意、歓迎、受容、平等といったポジティブな事柄の象徴として、そして手と手の接触が相手の心に触れる大切な行為であるからで、それがまた普通にできるようになってきたのは、少しずつ以前の日常に戻りつつあることを感じます。

さて、当院では4月からの新年度では、システム更新後の新しい電子カルテも大きなトラブルなく本格的に稼働中、起動も早くさらに安定してきています。また現在休止中の放射線治療もリニアック機器更新が年内には完了し再開の予定であります。そして新しい臨床研修医は今年も9名が加わり元気で活気ある病院となっています。今年は関東大震災から100年目の年、また紀州大水害からもちょうど70年となります。災害拠点病院としての当院の備えも年々充実し、昨年の自家発電量の増大に続いて今年は断水時の給水量の増加を目標としています。

コロナ禍で多くの日常が限りなく停滞した3年間、ソーシャルディスタンスや非接触によって離れた人と人の距離や心と心のふれあいが、雨降って地固まるように再びより良き平常に戻ってゆくと信じています。災害の時こそ大切な、手と手を取り合っただけの助け合い、そんな時に皆様に手を差し伸べて活動できる病院を目指してこれからも努力してゆきたいと思えます。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院

独立行政法人労働者健康安全機構

和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山県和歌山市木ノ本 93 番 1

TEL.073-451-3181 (代) FAX.073-452-7171 (代)・073-451-3788 (地域連携室専用 FAX)

E-mail.soumu@wakayamah.johas.go.jp URL.https://www.wakayamah.johas.go.jp/

和歌山ろうさい病院理念

地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した最適な医療を提供する。

血液内科の紹介

血液内科部長 阪口 臨

血液の病気についてご紹介します。

<白血病>

白血病は、骨の中にある骨髄（＝血液の工場）で、がん細胞である白血病細胞が無制限が増えてくる病気です。中でも、急性白血病は白血病細胞の増え方が早いため、だるさや熱や出血など様々な症状がはっきり出やすく、できるだけ早く治療を始めるのが最良です。慢性白血病は健診で疑われることが多く、ゆっくりと進行するため、症状がほとんどなく治療は落ち着いて始めますが、逆に症状がある場合は病気に勢いがあると予想されます。

<悪性リンパ腫>

リンパ腫は、血液中のリンパ球がガン化して、リンパ節などで増えてくる病気です。原因（ウイルスや菌）がわかるタイプもありますが、ほとんどは原因がわかりません。特徴は熱や体重が減ることや寝汗などが出現することです。ただし、悪性度の分類によって治療法が分かれるため、直ちに治療を始める場合と、あわてず経過を診ていく場合があります。

<多発性骨髄腫>

骨髄腫は、骨髄の中でガン細胞である骨髄腫細胞が増えてくる病気です。骨を弱らせたり血を造る働きを弱めたりすることが特徴で、骨折や貧血をきっかけに病気がわかる場合が多いです。腎臓も弱っている場合、できる限り早めに治療を始めることが望ましいです。

<治療>

それぞれのがん細胞の特徴や働きをピンポイントで抑え込む新たな抗がん剤が登場し、またその改良が重ねられており、治療効果は一昔前と比べて飛躍的に向上しています。

<その他>

骨髄異形成症候群（前白血病）、再生不良性貧血（骨髄不全）、鉄欠乏性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、血友病、多血症、本態性血小板血症なども治療しています。

<最後に>

私は医師になる直前に母を脳出血で亡くしました（享年50）。わずか5日間の闘病でしたが、没後、新聞のどこを見ても真っ白にしか見えない放心状態が3か月続いた自分のことをいまだに覚えています。当科外来（Aブロック）・薬物療法センター（通院がん治療）・南6病棟（無菌室完備）等の看護師・薬剤師や、中央検査部・中央リハビリテーション部・中央放射線部等のスタッフと協力し、家族になれずとも寄り添い、家族同様に想いを馳せてお一人お一人に最適な治療を提供して参りますので、これからもよろしくお願ひします。



南5階病棟の紹介

南5階病棟師長 橋本 眞由美

南5階病棟は、外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の混合病棟です。各診療科の医師とともに31名の看護師、3名の看護補助者、1名の病棟専任薬剤師でチーム医療を行っています。

外科は食道がん、胃がん、大腸がん、肝臓がん、膵がん、胆道がんなど消化器がんの手術や胆石症、消化管穿孔、鼠径ヘルニアなど一般外科手術疾患の治療も行っています。特に最近は腹腔鏡や胸腔鏡を用いた内視鏡外科手術に力を入れており、患者さんに優しい外科治療が行われています。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は耳科手術、鼻科手術、頸部手術などの手術症例が多く、頭頸部がんにおいては薬物療法や放射線療法及び手術を組み合わせた集学的治療を行っています。

看護で力を入れていることが大きく二つあります。

一つ目は、患者さんにとって、安全・安心・安楽の治療を受けていただくこと、そして、術後合併症を起こさず、入院予定期間で、入院された時と同じADL（日常生活動作）で退院していただくことです。そのためには、通院中から外来看護師や入退院支援センター看護師と連携を取り、パンフレットを用いて手術に備えていただいています。また、手術後は翌日から歩行訓練を開始するため、看護師が積極的に歩行練習を支援し、中央リハビリテーション部セラピストと協働しています。

二つ目は、地域医療との連携にも力を入れています。最近は、がんのターミナル期の患者さんやご家族が、「病院ではなく家で過ごしたい」と希望される方が多くなりました。入院前から外来や、入退院支援センター看護師が、「生活のしやすさに関する質問票」で体調や不安など聞かせていただき、緩和ケアチームも介入しています。治療後は、患者さんの希望に添うことができるよう、退院前に地域の医師はじめ看護・介護スタッフとカンファレンスを実施し、在宅での生活につなげ、病棟看護師による退院後訪問も実施しています。

手術や入退院が多い病棟ですが、患者さんのクオリティ・オブ・ライフを常に意識し、「あの時、元気づけてもらってよかった」という言葉を励みに、スタッフも元気に頑張っています。



高性能 CT 装置に更新しました

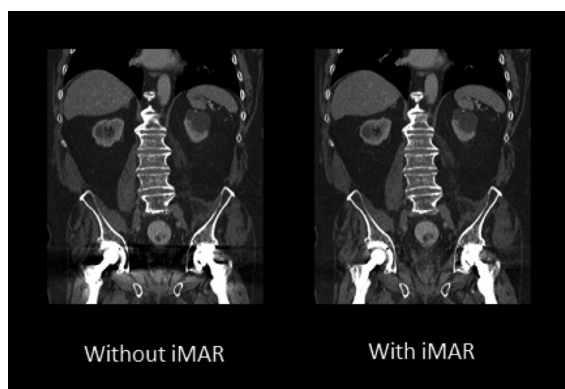
中央放射線部長 上村 晃三

令和5年4月にBrilliance CT 16(フィリップス社製16列)からSOMATOM go. Open Pro(シーメンス社製64列)へ更新を行いました。64列CT装置2台体制になります。

今回、導入された装置は、放射線治療計画と各種診断の両方で対応可能になっています。また、AI技術を使った最適なCT検査が可能になります。撮影条件の設定や画像再構成、画像解析の多くが自動化されるため、高品質で一貫性のある結果を提供することができます。特にAIカメラによって患者様の三次元情報が取得され、体格と検査部位に応じた正確なポジショニングや位置決め画像の撮影範囲が設定されます。これによって、患者様ごとに画質と被ばくを最適化したCT検査を実施することができ、画像診断の質の向上につながります。

臨床では、椎骨や椎間板、肋骨は自動的に認識され、脊椎の湾曲に沿った断面画像の作成や肋骨全体を展開表示することができます。各椎体や肋骨は、ラベリングされるため読影の効率化にもつながります。また、金属を含む症例では、iMARを用いて軟部組織への金属アーチファクト低減処理が可能になります。例えば、股関節部に人工関節が挿入されている場合、これまでは金属アーチファクトが原因で骨盤内の観察が不可能でした。このような金属周囲の解像度の劣化を抑え、より正確な解剖や構造の描出が可能になります。

この装置は、患者様に安心して検査を受けていただけるように日常点検やメーカーによるサポートも充実しています。中央放射線部では、近隣の医療機関の先生方にも満足していただける画像を提供できるように最新の情報や技術を取り入れていきますので今後ともよろしくお願いいたします。(シーメンス社より提供)



オンライン資格確認の導入について

令和5年4月から全国の医療機関・薬局にて導入されました、マイナンバーカードの健康保険証利用に伴うオンライン資格確認等システムを、当院も導入いたしました。システム導入により当院総合受付に専用カードリーダーを3台設置しマイナンバーカードを読み取ることで速やかに保険情報の確認ができるようになりました。なお健康保険証利用には、事前に政府が運用するオンラインサービス「マイナポータル」への登録が必要です。



「かかりつけ医」のご紹介

和歌山ろうさい病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

ふじ戸台レディースクリニック

診療科目 産科、婦人科

住 所 〒640-8451 和歌山県和歌山市中573-19

ふじと台ステーションビルエスタシオン東棟4階

電 話 073-451-6058



院長 おたに つとむ 尾谷 功 先生



尾谷先生はお父様も医師であり、和歌山市福島にて長年『尾谷産婦人科』を経営されてきました。先生はお父様の後を引き継ぐ際、現在のふじと台に移転し医院名も『ふじ戸台レディースクリニック』に変更し令和4年2月3日に開院されました。

丁寧な診察をモットーに月経困難症をはじめとした婦人科系疾患を診察され、中学生から80歳代までの幅広い年齢層の患者様が来院しています。先生は当院での勤務経験もあり当時から子宮鏡下手術を専門としておられます。子宮内膜ポリープ・子宮筋腫の切除の際、患者様への痛みや負担を少なくするため麻酔を使用せず、電気メスの代わりに電動シェーバーで行う日帰り手術をされています。

加えて子宮頸がん・卵巣がん検診、ヒトパピローマウイルスの予防接種も行っておられ、多くの女性の健康のために日々尽力されています。

和歌山ろうさい病院が今後も地域医療を提供し続ける上で、欠かすことのできない重要な連携協力医療機関（パートナー）です。

		月	火	水	木	金	土	日
ふじ戸台 レディース クリニック 診療時間	午前 9時30分～13時 (受付終了：12時30分)	○	女 医	○	休	○	○	休
	午後 14時～17時 (受付終了：16時30分)	○	○	○	○	○	休	休

※休診日：木曜日午前・土曜日午後・日曜日・祝祭日

和歌山ろうさい病院 (外来診療科担当医一覧表) 令和5年7月1日現在

診療科	ブロック	診察室	月	火	水	木	金	手術日
内科	A	①番	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	-
		②番	三長 敬昌	中尾 隆太郎	中尾 隆太郎	三長 敬昌	丸山 杏奈	
		⑦番	大伴 裕美子(午前) (腎臓内科)	南條 輝志男 【第2週休診】	-	-	中島 悠里 (腎臓内科)	
		⑩番	-	-	リウマチ・膠原病内科診 岩田 慈	-	-	
脳神経内科	A	⑪番	榎皮谷 泰寛	(午前)坂本 健	休診	榎皮谷 泰寛	榎皮谷 泰寛	-
⑭番	-	(午後)福本 明由実	-	-				
血液内科	A	⑩番	阪口 臨	休診	阪口 臨	休診	休診	-
呼吸器内科	A	⑤番	前部屋 賢	細 隆信	庄野 剛史	細 隆信	当番医	-
		⑥番	辰田 仁美	庄野 剛史	前部屋 賢	辰田 仁美	-	-
消化器内科	B	⑪番	当番医	江守 智哉	深津 和弘	江守 智哉	内視鏡センター診 深津 和弘	-
		⑫番	与田 武徳	森 加奈子	石原 朋和	垣本 哲宏	榎本 武典	-
		⑬番	-	当番医	-	当番医	当番医	-
肝臓内科	B	⑬番	玉井 秀幸	岡村 順平	玉井 秀幸	玉井 秀幸	玉井 秀幸	-
循環器内科	A	⑧番	三浦 謙	小向 賢一	林 泰	林 泰	山本 康徳	火・木
		⑨番	武田 惇平	-	山本 康徳	-	小向 賢一	
		⑩番	上田 美奈	上田 美奈	田中 侑	小森 有紀	上田 美奈	
		⑪番	西川 香瑠	小森 有紀	西川 香瑠	田中 侑	小森 有紀	
小児科	C	特診⑨	小森 有紀	上田【予防接種】	田中 侑	上田 美奈	【第1週目】神経外来 津田 祐子【再診】 【第2週目以降】 宮代 英吉【再診】	-
		特診⑩	田中 侑	-	西川 香瑠	小森 有紀	心臓外来 土橋 智弥	-
外科	B	⑦番	山本 基	岩橋 誠	宮澤 基樹	岩橋 誠	山本 基	月・火・水・木・金
		⑧番	桐山 茂久	福田 直城	桐山 茂久	福田 直城	宮澤 基樹	
		⑨番	-	-	-	-	-	
		⑩番	-	-	-	ストーマ外来(予約制)	-	
整形外科	B	③番	中谷 如希	脊椎センター診 麻殖生 和博	手外科診 峠 康	中谷 如希	岩田 勝栄	月・火・水・木・金
		④番	峠 康	岩田 勝栄	籙谷 良平	スポーツ整形診 麻殖生 和博	野中 研人	
		⑤番	当番医【紹介新患診】	籙谷 良平	平 一裕	南野 和佳	平 一裕	
		⑥番	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
		⑨番	野中 研人	-	-	-	当番医【紹介新患診】	
脳神経外科	A	⑫番	【第1週目】 寺田 友昭 【第2週目以降】 岡田 秀雄	林 宣秀	岡田 秀雄	当番医	林 宣秀	火・木
		⑬番	辻 栄作	川口 匠	辻 栄作	-	川口 匠	
		⑭番	金高 由佳	小山 佳輝	金高 由佳	-	小山 佳輝	
		救急特掲	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
呼吸器・乳腺外科	A	③番	玉置 剛司 (乳腺外来)	内藤 古真 (乳腺外来)	内藤 古真 (乳腺外来)	内藤 古真 (乳腺外来)	内藤 古真 (乳腺外来)	月
皮膚科	D	①番	下松 達哉	休診	下松 達哉	下松 達哉	下松 達哉	火
		②番	鎌山 あずさ	休診	野田 佑奈	野田 佑奈	【第1・3・5週】鎌山 【第2・4週】野田	
泌尿器科	C	①番	鈴木 淳史	小池 宏幸	休診	鈴木 淳史	当番医	水・金
		②番	小池 宏幸	丸山 容平	-	丸山 容平	-	
産婦人科	D	⑩番	竹中 由夏	当番医	久米川 綾	当番医	-	火・木
		⑫番	矢本 希夫	助産外来(予約制)	矢本 希夫	助産外来(予約制)	当番医	
		⑬番	谷本 敏	-	竹中 由夏	谷本 敏	久米川 綾	
		午後予約	-	-	-	母親教室(予約制)	-	
眼科	D	⑤番	(午前)坂東 肇 (午後)三村 治 【第1週目のみ】 ※日時変更の可能性有	佐々木 秀一朗 (午前)	佐々木 秀一朗	佐々木 秀一朗 (予約制)	佐々木 秀一朗	月・木
		⑥番	安武 正治郎 (午後)	安武 正治郎 (午後)	-	-	-	
		午後予約	-	-	検査(予約制)	-	-	
耳鼻いんこう科	C	⑤番	森山 智美	休診	森山 智美	森山 智美	福田 祐也	火・水・金
		⑥番	福田 祐也	休診	-	福田 祐也	【第1・3週】 頭頸部外科外来 横山 道明	
		⑦番	-	休診	-	-	-	
リハビリテーション科	D	午後	嚙下外来	-	-	第1・4週 補聴器外来・当番医	嚙下外来	-
		予約	福田 祐也	-	-	-	福田 祐也	
放射線科	D	1診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	-
		2診	当番医	-	当番医	-	-	
		3診	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	
女性専用外来 【完全予約制】	A・D	午後 (予約制) A⑦番 D⑩番	-	-	第1・2・3・4週 総合(漢方)外来 辰田 仁美	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希未子	第3週 乳腺外来 内藤 古真	-
		-	-	第1週 漢方外来 松本 朋子	第2・4週 漢方外来 神人 美穂子	-	-	
		-	-	-	-	-	-	
専門外来	健診センター【予約制】	禁煙外来(1400~1430)	庄野 剛史	-	-	禁煙外来(1400~1430) 庄野 剛史	-	-
		-	-	-	-	肥満外来(1500~1600) 中 啓吾	-	

(注1)

- 小児科の午後は、予約者を対象に専門外来を行っています。
- 呼吸器・乳腺外科の月曜日、耳鼻いんこう科の火曜日、泌尿器科の水曜日、眼科の木曜日は手術のため休診です。
- 母親教室は、毎週木曜日 14時~16時です。(予約制)
- 助産外来は、毎週火曜・木曜日 9時~15時です。(予約制)
- 耳鼻いんこう科の木曜日の午後の診察時間は、13時~15時となっております。
- 糖尿病教室は、平日月曜日~金曜日に開催しております。詳細については内科外来にお問合せください。
- 女性外来・専門外来は、完全予約制となっております。
- お申込みは、勤労者医療総合センター直通番号(073-451-3303)までお申込みください。
- 各診療科の専門外来については、病院代表番号(073-451-3181)を通じて各専門外来までお問合せください。
- 整形外科・当番医での予約は受け付けておりません。
- 10.前月から変更がある部分については網掛けで標示します。

(注2)

セカンドオピニオン外来の詳細については、地域医療連携室(073-451-3186)までお問合せください。

※他院からの紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約をして頂きますようお願いいたします。
《診療予約をせずに来院されましても、担当医師が対応できない場合があります。また対応可能な場合でも、待ち時間がかなり発生いたしますので、前もっての診療予約をお願いいたします》
【予約専用電話】 073-451-3186